

エイズ診療拠点病院 HIV 感染症診療ご担当 先生

『エイズ予防指針に基づく施策の評価と課題抽出に関する研究』における
アンケート調査のお願い

平素より大変お世話になっております。

また、新型コロナウイルス感染症診療の影響で一層お忙しくお過ごしのことと推察いたします。

私どもの研究班ではエイズ予防指針改正に向けた研究『エイズ予防指針に基づく施策の評価と課題抽出に関する研究』を実施しております。このたび、早期治療に関する検討のためのアンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

抗 HIV 療法の開始時期に関しては、世界的に、すべての HIV 感染者に診断後、速やかな治療開始が推奨されておりますが、本邦においては、医療上の緊急性が高い場合においてさえも、速やかな開始が難しいケースが散見されます。本アンケートは、研究の一環として、治療上の現状の課題を把握し問題を解決するための足掛かりとなることを目的に、エイズ診療拠点病院の先生方に、ご協力をお願いしております。

日々の診療でお忙しいところを大変申し訳ございません。課題の解決に近づけるため、ご回答の程よろしくお願ひ申し上げます。

以下の URL から web にてご回答下さい。

<https://docs.google.com/forms/d/1u45MaLVnkAISk8Izs9vnCysDbRf3oTSom2hGmSgIOVU/edit>



エイズ予防財団ホームページにリンクがございます。 <https://www.jfap.or.jp>

この調査は東京医科大学医学倫理審査委員会の承認を得ています（研究課題番号 T2021-0236）。ご回答いただく各施設では倫理委員会を通す必要はございませんが、施設長に把握していただくようお願い申し上げます。

なお、2022年3月20日までにご回答をお願いいたします。

ご協力、深謝いたします。

2022年1月

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」班 研究代表者 白阪琢磨

『エイズ予防指針に基づく施策の評価と課題抽出に関する研究』 研究分担者 四本美保子

E-mail: mhk@tokyo-med.ac.jp

【事務局】

公益財団法人エイズ予防財団 担当 山崎厚司

TEL : 03-5259-1811 E-mail : yamazaki@jfap.or.jp

新規受診 HIV 陽性者の状況に関するアンケート調査

令和2年(2020年)1月～12月(2021年ではありません)の16歳以上のHIV陽性者の貴院新規受診者の状況についてお伺いしますので、次のURLよりご回答お願い致します。

<https://docs.google.com/forms/d/1u45MaLVnkAISk8Izs9vnCysD bRf3oTSom2hGmSgI0VU/edit>



エイズ予防財団ホームページにリンクがございます。<https://www.jfap.or.jp>

- 1 上記期間中の貴院受診の新規受診患者数 () 例)
- 2 その中で未治療であった患者数 () 例)
- 3-(ア) 受診時に未治療だった患者の中で急性感染(早期 HIV 感染)の患者数 () 例)

下記の①-④のいずれかを満たす場合に急性感染(早期 HIV 感染)と定義する

- ① HIV-1 抗体確認検査(IC法による新規の HIV-1/2 抗体確認検査法、もしくは WB 法)陰性/判定保留かつ HIV-RNA 陽性
- ② WB による確認試験で陰性/判定保留で、複数回の WB で経時的に陽性バンドの増加を確認
- ③ HIV 感染の診断日の過去 6 ヶ月以内に HIV 検査が陰性であった者
- ④ HIV 感染の診断日の過去 6 ヶ月以内に急性レトロウイルス症候群(HIV に感染してから 2~4 週後にみられる、発熱・発疹・咽頭痛・リンパ節腫脹・無菌性髄膜炎・口腔あるいは陰部潰瘍・筋肉痛等を呈する病態で、それらの症状がみられ、HIV 感染症が血清学的・ウイルス学的に証明)を呈した者。

3-(イ) (ア)の症例の診断から抗 HIV 療法開始までの期間

- a 0~2 週間未満 () 例)
- b 2~6 週間未満 () 例)
- c 6~10 週間未満 () 例)
- d 10 週間以上 () 例)
- d-2 その理由 ()
- e 未治療 () 例)
- e-2 その理由 ()

3-(ウ) (ア)の症例の診断から抗 HIV 療法によって血中 HIV RNA 量<200 コピー/mL を初めて達成するまでの期間

- a 0~2 週間未満 () 例)
- b 2~6 週間未満 () 例)

- c 6～10 週間未満 (例)
- d 10～14 週間未満 (例)
- e 14～18 週間未満 (例)
- f 18～22 週間未満 (例)
- g 22 週間以上 (例)

3-(エ) (ア)の症例のうち、抗 HIV 療法を開始する前に通院中断(ドロップアウト)した患者数 (例)

4-(ア) 受診時に未治療だった患者のうち抗 HIV 療法開始時の CD4 数 200/μL 未満の患者数 (例)

4-(イ) 受診時に未治療だった患者のうちエイズ発症の患者数 (例)

4-(ウ) (ア)と(イ)の両方を満たす患者数 (例)

4-(エ) (ア)と(イ)の症例の HIV 感染症の診断から抗 HIV 療法開始までの期間

- a 0～2 週間未満 (例)
- b 2～6 週間未満 (例)
- c 6～10 週間未満 (例)
- d 10 週間以上 (例)
- d-2 その理由 ()
- e 未治療 (例)
- e-2 その理由 ()

4-(オ) (ア)と(イ)の症例のうち、抗 HIV 療法を開始する前に通院中断(ドロップアウト)した患者数 (例)

4-(カ) (ア)と(イ)の症例のうち、2021 年 6 月 30 日までに疾病(事故や自殺以外)で死亡されている患者数 (例)

4-(キ) (オ)の原因疾患は何でしたか (複数例の場合は全て記載して下さい)

5 これら以外に早期治療開始ができず臨床的に困られたご経験がございましたら具体的に教えてください。

以上です。お忙しいところご協力ありがとうございました。